

---

# 増える管轄外

榛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
増える管轄外

【Nコード】  
N9413W

【作者名】  
榛

【あらすじ】  
広い世界のどこかで、こんな会話が交わされている、かも。

藍色に染め抜かれた居酒屋の暖簾を潜ると、既に面子が揃っていた。

「おー、おかえり」

「残業、お疲れ様です」

「というかフライング残業よね。こつち来て飲みましょ？」

飽きるぐらい見慣れた面々に呼ばれ、いつも使っている掘炬燵の定位置に座った。

「佐保もお疲れ。二人はまだ暇なんだろう？」

何も言わなくても運ばれてきたジョッキを持ち、まず一口流し込む。炭酸の痛いような感覚にキンとした冷たさ、その後から苦みが追い駆けっこをして喉を通り、胃に落ちた。

「まあね。まだあたしの担当じゃないもの」

チーズを摘みながら、横の竜田たつたがお気楽に話す。

「俺もだな。おかげでぐーたら生活してるよ」

斜め前の将軍はお猪口に少しずつ口を付けながら言う。既に朱に染まった白い肌から、長時間この店にいることが予想できた。羨ましい限りだ。

「だよな。なんか毎年仕事が増えてる気がするんだけどさあ」

ふう、とつい溜息が口を突いて出る。

「そうですね。年々私のが減って、筒井つづいさんの仕事になってますもの」

カルアミルクを片手に佐保は眉を曇らせる。

「今は私の担当の筈ですがのに、筒井さん大活躍ですものね」

「こつちは大迷惑だよ。長時間働いても得なんて何一つない。あーあ、人間全滅しないかな」

焼き鳥に噛り付くと、香ばしい醤油の味がした。

「それは無理だろ。あ、今って俺の管轄外のインフルエンザが流行ってるらしいな」

「ああ、ラジオでちらつと聞いた。もつと盛大に流行ってくれないと人口減らないんだよねー」

今も待っている山積み仕事を思い出し、ついぼろりと本音が出てしまった。

「何不吉なこと言ってるんよ。あんたそれでも神様？」

ワイングラスを傾けていた竜田から、背中に強烈な平手打ちを食らった。

「痛っ！ 冗談に決まってるだろ」

半分くらい本気が混じっていたのは秘密だ。ジョッキの中の残りを呷り、早々に席を立つ。

「もう行くわ。まだ仕事あるし」

三人を残し、居酒屋を出た。

「神様業も大変ですよ。特に筒井さんの夏は」

「人間の地球温暖化とかいうやつのせいだろ？」

「日本地区担当とはいえ、出番増えすぎよね」

四季を司る神々は、溜息を吐いた。

(後書き)

三題噺として作成したものです。

題：残業、ラジオ（ラヂオ）、インフルエンザ

ちよつと短いうえに描写が少なくてオチがよくわからなかった人のための簡単解説。

佐保（女） 春を司る佐保姫さおひめ

筒井（男） 夏を司る筒姫つっひめ

竜田（女） 秋を司る竜田姫たつたひめ

將軍（男） 冬を司る白姫（名前は冬將軍からとりました）しんひめ

ということ、日本の四季を司る神様たちの愚痴大会、ということでした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9413w/>

---

増える管轄外

2011年11月1日02時10分発行